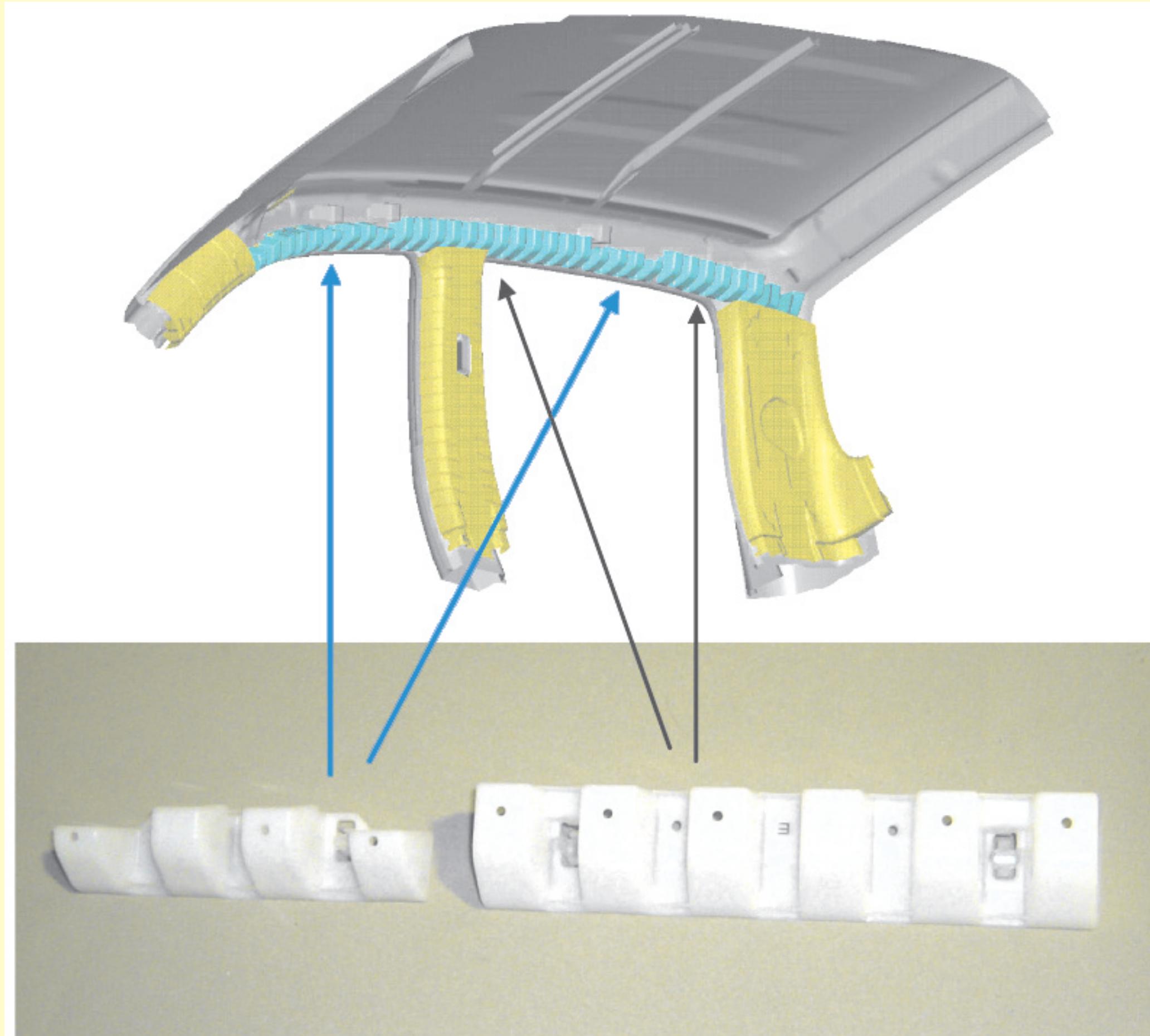


自動車部品賞

衝撃CAEを活用した共通化可能な
新しいエネルギー吸収構造体
小島プレス工業

第2回モノづくり部品大賞



製品プロフィル

自動車が衝突した時、エアバッグでは通常カバーしきれない乗員の頭部への衝撃を抑えるために開発された。自動車の天井裏に内蔵され、乗員が車内で頭を打ち付けた際にクッションの役割を果たす。

同部品は樹脂製で、断面形状がコの字形。頭部が衝突すると、そのコの字断面が、きれいに平面状につぶれるよう形状を工夫したのが特徴。エネルギー吸収効率に優れ、頭部障害を最小限に抑える。形状が簡易なため、部品の生産効率化にも貢献、普及が期待される。

用途

自動車車室内の天井裏、ピラー、トリム内の衝撃吸収体や歩行者保護対応のバンパー内、グリルガード、ボンネット裏等に展開できます。